

【会員だより】

短 15 回生 同窓会リレーエッセイ 最終回

新型コロナウイルスの為、同窓会を中止となりました。その為、今回の同窓会幹事から順番にご推薦頂いた短 15 回生の皆様からリレー形式により 4 回にわたり連載させていただきます。内容は学生時代の思い出や近況報告でお願いしています。

同期への思い

中井(古野) 恵莉(短 15 回生)

早いもので、卒業して 16 年もの歳月が過ぎました。いつの間にか 40 歳目前ということに焦りと恐怖を感じています。短大時代は学業に自治会、バイトに遊びと忙しいながらも充実した毎日を送っていました。その時に培った人間関係があったからこそ、私は今も放射線技師として働くことができます。

医技短で友人たちと共に勉学に励み、泣いたり笑ったりとたくさんの思い出を作りました。特に自治会活動を通じて一生付き合っていける友人を得ることができました。先生方のご指導のおかげで国家試験に合格、そして無事に就職するに至りました。入職後は同期との飲み会で情報交換。お互い職場で言えないことをぶちまけてストレス発散していました。また、学会や勉強会で同級生を見つけると心強く、「自分も頑張ろう」と前向きな気持ちになることができました。

先輩でも後輩でもない対等な同期という存在は特別なものであり、今回の同窓会中止という決定は非常に残念でなりません。今何をしてどう感じているか、今後のことなどを直接会って話をしたかったです。少しでも早く新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、懐かしい顔ぶれに会えることを楽しみにしております。

私の近況についてですが、実はこの度 16 年間勤めていた病院を退職することに致しました。ライフスタイルの変化により家庭と仕事の両立が難しくなったというのが理由なのですが、人間関係や環境に恵まれていたので正直心残惜しいというのが本音です。また、私の卒後就職に際してサポートして下さった職員の皆様(特に西谷先生)には申し訳ない気持ちでいっぱいです。職場は変わりますが心機一転、引き続き放射線技師として今までの経験を活かし研鑽を積んでいく所存です。

最後になりましたが学友会、学校関係者の皆様。新型コロナウイルスがまだまだ猛威を奮っており、同時に寒さが身に染みる季節となりました。体調には十分に気をつけてお過ごしください。



以上